

## 骨髓提供後にみられた合併症

### ・喉頭肉芽腫(1例)

気管チューブを入れる刺激によって、喉頭に良性の腫瘍ができ、手術により切除しました。  
(なお、気管チューブの刺激により一時的に声が変わることがまれにあります。)

### ・右下腿深部静脈血栓症(1例) 安全情報(報告) (PDF)

骨髓採取後、右下腿深部静脈に血栓が認められました。治療の結果、血栓は消失しました。

### ・左下肢痛(1例)

骨髓採取後、左大腿部から膝にかけて痺れが出現し、採取部位の痛みが長期間残存しました。日常生活には復帰しましたが、痛みが続きました。その後、徐々に改善傾向を示し、フォローアップを終了しました。

### ・尿道損傷(2例) 安全情報(報告) (PDF)

骨髓採取終了後、尿道カテーテルを抜去したところ出血がみられました。  
圧迫により止血を図ると共に、絶対安静を保ち鎮痛剤投与し退院延期となりました。  
経過観察にて改善し、フォローアップを終了しました。

### ・その他の合併症

角膜びらん 【5例】

皮下血腫 【4例】

腰痛悪化による再入院、大腿外側皮神経麻痺(左または右)、顎関節症(左または右)、薬疹、尺骨神経麻痺・知覚鈍麻(左または右)、骨髓穿刺部の強い腰痛、腰痛症、下肢神経障害・末梢神経障害(左または右)

【以上各3例】

硬膜外麻酔による硬膜損傷、腎盂腎炎、喉頭肉芽腫(手術なし)、椎間板ヘルニア(腰部)

【以上 各2例】

骨片の残存、難聴の一時的悪化、骨髓採取部位の皮膚炎、菌血症と化膿性仙腸関節炎、点滴部位の長期にわたる静脈炎、骨膜炎、筋膜性腰痛症、急性化膿性扁桃腺炎、左右両臀部筋肉出血、気管支肺炎、腰痛・右下肢痺れ、外傷性坐骨神経障害、右下肢外側痺れと疼痛、臀部から腰部疼痛による歩行困難、右手第5指の痺れ感、変形性脊椎症、仙腸関節炎、左腕神経叢麻痺、抗生物質投与によるアナフィラキシー、左外側大腿部知覚鈍磨、左大腿部背部痛、骨盤痛、腰部筋膜炎、上部消化管出血、喉頭外側面の潰瘍形成、嚥下不良、左腸骨棘の線状骨折、術後肺炎、毛嚢炎(下顎)、採取部位の腫脹と発熱、骨髓採取後の血腫および腸骨炎、誤嚥性肺炎、ウイルス性食道炎、左後腸骨穿刺部痛、陰茎びらん、点滴部位の小結節、右前腕橈骨側のしびれ、臀部から下肢への痛み、大腿部の痛みとしびれ、筋膜性疼痛、歯冠破折、肩関節周囲炎、肘部管症候群、左腰の強い穿刺部痛、左腸骨剥離骨折、腰椎椎間板症、左腸腰筋部位の血腫

【以上 各1例ずつ】

いずれも治癒又は消失しています。